

## ビール瓶は、「再利用」の優等生

# ビールを飲むなら瓶ビール

大手メーカー4社の瓶ビール出荷量は、1985年に80%以上を占めていましたが、2005年には、15%に減りました。軽くて使い勝手のよいアルミ缶が支持されてきたからです。

でも、回収して、洗浄して、何度（約20数回使えるそうです）も使えるビール瓶は、環境にやさしい容器です。500mlの中瓶を20回使ったときの1回当たりの二酸化炭素の排出量は、500mlのアルミ缶を1回使ったときの1/5以下です。瓶を1～2回しか再利用しないなら、缶の方が少ない二酸化炭素排出量ですが、瓶を3回転すればほぼ同じ、4回転以上なら瓶の方が少ない二酸化炭素排出量です。

回収された瓶は、カセイソーダ液にくぐらせて殺菌され、高圧の水で洗浄されます。傷があるかどうかも1mmレベルでチェックされます。検査ではじかれた不良瓶は、ガラスメーカーに引き渡され、主に、またビール瓶の原料になります。何度も使われていても、安全は、保障されています。

ビールを飲むなら瓶ビール。飲みすぎにはご注意ください。

